



■ 仏の道を選んだ理由

インド・靈鷲山で祖父18世・御講有日地上人の納骨の際、心をつにした御題目の口唱。涙ながらに異体同心の誓いを立てるお教務方の背中に、深い感銘を受けました。「これならついていける」と思えた瞬間でした。

■ 印象に残っているご奉公

佛立青年教務会50周年記念事業の一環として、青年教務40師でブラジル全土の寺院を巡回・助行できたことです。バスだけで朝から晩までブラジル全土を走り続け、激励を重ねました。今では考えられない行程であり、生涯忘れられない体験となりました。



■ 今後目指したいこと

信心を礎に、どこまで社会貢献や大阪の発展に尽くせるか挑戦したいです。笑顔と遊び心を忘れず、皆と幸せを探していきたいです。



住職

JUSHOKU ZUKAN

図鑑

大阪・清風寺

せいふうじ

■ 住職名

にしむらせいりよう
西村清良

■ 本名

にしむらえいちろう
西村栄一郎

■ 好きな言葉・座右の銘

「仏種は縁に従って
おこる」
(法華経方便品)

仏の智慧や悟りは、縁(出会いや機会)を通じて花開くという意味です。



- 生年月日 1974年4月17日(51歳)
- 家族構成 妻・長女・長男・次男・マルチーズ
- 役職 清風寺 台湾佛立寺 住職・宗務本庁 弘通局 国際部長・本山評議員・第二宗務支庁 次長・日蓮門下連合会 理事・宗教研究会(コルモス) 監事
- 略歴 昭和49年 清風寺で誕生。幼稚園直前まで、15世日晨上人と世田谷別院で生活
平成7年 清現寺にて、日明導師のもと得度
平成22年 清風寺住職に就任。第25代佛立青年教務会 会長。
清風寺本末(69カ寺)・信要会 会長。社会福祉法人・淳風会 理事長。
大阪・サンパウロ姉妹都市協会 理事、大阪ロータリークラブ 理事
- 趣味・特技 食べ歩き・温泉・サウナ



清風寺の行事や自慢したいこと

① 歴史をつなぐ祈りと奉仕の伝統

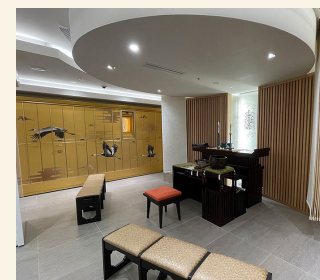
清風寺では、日本最古の真田山陸軍墓地にて、管理する財団法人から唯一の許可を得て毎月、信徒と共に墓地の清掃・参詣を続け、英霊へのご回向をしています。さらに、題目行列を長年にわたり実施。また、地域の清掃活動にも励んでいます。

② 世代をつなぐ学びとふれあいの場

子ども御会式や由緒あるスカウトの活動、育成御講、福活セミナー、書道、運動教室など、清風寺では子どもから高齢者まで、幅広い世代が学び合い育ち合う場が整えられています。さらに、福祉施設への青年会訪問や成人式・敬老式の開催を通じて、地域との深い結びつきを大切にしています。

③ 地域に開かれたお寺

800名以上が参詣できる荘厳な本堂、斬新な納骨室、ペット慰霊施設など現代的な設備に加え、100歳を迎えて法鼓を打たれる宣子大奥さまの存在も自慢です。多目的ホールや相談所、カフェ「マハロ」、冠婚葬祭の充実、敷地内には特別養護老人ホームを併設し、地域福祉や支援活動にも力を注いでいます。



清風寺は こんなお寺

1889年(明治22年)大阪大歓組を結成。1889年(明治32年)大阪事妙支部を創立(8組で構成)。1900年(明治33年)日英山助給庵を法華宗より入手。それまでの助給庵は、約40年にわたり無住・檀家なし。1913年(大正2年)清風寺と改称。組数26、信徒数1298戸となり、わずか5年間で3倍に増えました。

光薫寺は「ライフステージ・コミュニティ」の形成に力を入れています。



あらゆる世代が集い、語らう場・時間を大切に

ご信者、一般の方を問わず、誰もが参加できることはもちろん、子どもから子育て世代、高齢者に至るまで、全世代を対象にした行事・イベントを開催しています。あらゆる世代の人々が共に集い、語らうことで、生きる喜びや豊かさを追求します。

うちの住職はココがすごい！



われらの御住職は、お茶目なカリスマ。どんなときでも、信者を穏やかな空間で満たし、救ってくださいます。それこそが特一級の本大寺を率いる「スゴサ」であり、やがては宗門全体を導くであろう「スゴミ」だと確信しています。

清風寺事務局長 鈴木俊生さん